

県立大「てんこもり展」
斬新な織物や焼き物

岡山



カラフルなベッドシートやドレスなどが並ぶ会場

県立大(総社市窪木)デザイン学部造形デザイン領域の学生による展示会「てんこもり展」が、岡山市北区柳町の山陽新聞社さん太ギャラリーで開かれている。織物や焼き物にユニークな発想を取り入れた作品が会場を彩っている。12日まで。3年生11人が計44点を披露。夜にお化けが怖くならないよう子どもがお化けと遊ぶ絵柄にしたシートカバー、雨にぬれても大丈夫な焼き物のてるてる坊主、血小板と赤血球

をイメージした白と赤のドレスなどが並ぶ。学生が常駐し、機織り体験、組みひもを使ったブレスレット作りのワークショップもある。

高梁市成羽美術館(同市成羽町下原)所蔵の古代エジプトの品々をモチーフに、学生が制作したTシャツやバッグなども展示している。

徳島県吉野川市の後藤志保さん(49)は「どれも斬新なデザインでインパクトがあり、見ていて想像が膨らんだ」と話していた。入場無料。午前10時〜午後5時(最終日は同4時)。(寺田哲)